

大津市公報

目

示

令 和 4 年 12 月 1 日 号 外 (第 58 号)

発行所 大 津 市 役 所 発行人 大 津 市 毎月1日、15日(休日の場合は翌日)発行

O 告

298 令和4年度上半期の大津市の水道事業、下水道事業及びガス事業の業務状況の公表について………1

告示

次

大津市告示第298号

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2第1項の規定により、令和4年4月1日から同年9月30日までの大津市の水道事業、下水道事業及びガス事業の業務の状況を次のとおり公表する。

令和4年12月1日

大津市長 佐 藤 健 司

第1 水道事業

- 1 事業の概況
 - (1) 総括事項

(業務状況)

令和4年度上半期の給水戸数は前年同期と比較して1,738戸(1.1%)増加しましたが、給水収益は前年同期と比較して3,125万円(1.0%)減の29億9,862万円となりました。

今後の水需要の減少に対応しつつ、水道施設の更新改良及び運転維持管理を効率的かつ効果的に推進するため、令和6年度から15年間にわたって「真野・新瀬田浄水場更新改良及び水道施設運転維持管理事業」をPFI方式で実施することとし、令和4年7月に実施方針を公表しました。

また、お客様の利便性の向上を図るため、令和4年4月から、スマートフォン、パソコンで水道、下水道及びガスの料金及び使用量を確認できるサービス「未るみる」の運用を開始しました。

水道事業のPR及びSDGsの取組として、昨年に引き続き、給水スポット(冷水機)の整備に取り組み、新たに大津港サイクルステーション内に設置するとともに、普及促進策として冷水機設置補助事業を開始し、同事業を活用して民間施設に新たに1基が設置されました。また、第72回全国植樹祭しが2022に出展し、「浄水発生土を活用した地域循環プロジェクト」のPRを行いました。

(建設・改良・維持管理)

拡張事業では、水需要の減少に伴う八屋戸浄水場の廃止に向けて、真野・八屋戸浄水場間を結ぶ送水管の整備を実施しています。また、瀬田地区の安定給水のために瀬田公園配水池系の配水管の整備を実施しています。

改良事業では、健全管路の確保を図り、安定給水と漏水防止を図るため、老朽鋳鉄管や鉛製給水管の 布設替工事を計画的に行うとともに、山上配水池系送水管の老朽管布設替工事を令和3年度に引き続い て実施しています。また、浄水場等施設の耐震化を含む柳が崎浄水場の改良工事を実施しています。

その他、24時間常駐体制の下、修繕業務等を行いました。

(経理状況)

令和 4 年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して7,704万円 (2.1%) 減少し、35億3,107万円となりました。一方、費用総額は1,538万円 (0.6%) 増加して、24億2,435万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き11億672万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

	区	分	†	単位	令和4年度 上 半 期	令和3年度 上 半 期	比較増減	伸び率 (%)
期	末 糸	合 水 戸	数	戸	161, 038	159, 300	1,738	1.1
期	間	給 水	量	m³	18, 971, 187	19, 249, 224	△ 278,037	△ 1.4
-	日 平	均給力	k 量	m³	103, 668	105, 187	△ 1,519	△ 1.4
給	水	収	益	円	2, 998, 620, 076	3, 029, 871, 783	△ 31, 251, 707	△ 1.0

受	託	工 事	収	益	円	7, 389, 720	13, 315, 080	△ 5,925,360	△ 44.5
そ	の	他	収	益	円	525, 058, 300	564, 924, 034	△ 39, 865, 734	△ 7.1
総		収		益	円	3, 531, 068, 096	3, 608, 110, 897	△ 77,042,801	△ 2.1
総		費		用	円	2, 424, 345, 792	2, 408, 960, 826	15, 384, 966	0.6

- ※ 文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。
- ※ 表中令和3年度上半期の業務実績に係る数値は、前年度に公表した数値に、公表後に生じた要因による数値の変動を反映させたものです。
- 2 経理の状況
- (1) 損益計算書

損益計算書

令和4年4月1日から同年9月30日まで

(単位:円)

			(幸位・11)
収	益	費	用
科目	金額	科目	金額
営 業 収 益	(3, 022, 280, 896)	営業費	月 (2,263,876,193)
給 水 収 益	2, 998, 620, 076	净 水 星	費 404, 119, 308
受託工事収益	7, 389, 720	配 水 猛	162, 685, 477
その他営業収益	16, 271, 100	漏水対策	11,330,913
営 業 外 収 益	(508, 787, 200)	給 水	115,004,661
受取利息及び配当金	796, 720	受 託 工 事 犭	4, 922, 384
加 入 金	113, 390, 000	業務	126,811,392
他会計負担金	9, 173, 753	総係	予 78,706,830
長期前受金戻入	338, 826, 000	減価償却	1,337,088,000
雑 収 益	46, 600, 727	資 産 減 耗 引	2 3, 207, 228
		営 業 外 費 月	月 (160, 469, 599)
		支払利息及び企業債取扱諸	費 132, 458, 283
		雑 支 と	出 28,011,316
		当期純利 並	(1, 106, 722, 304)
### #	3, 531, 068, 096	計	3, 531, 068, 096

(2) 貸借対照表

貸借対照表

令和4年9月30日現在

(単位:円)

			(単位:円)
借	方	貸	方
科目	金 額	科目	金 額
固 定 資 産	[61, 325, 367, 172]	固 定 負 債	[15, 250, 860, 986]
有 形 固 定 資 産	(61, 248, 503, 475)	企 業 債	14, 523, 299, 439
土 地	4, 060, 133, 417	引 当 金	727, 561, 547
建物	3, 776, 976, 085	流 動 負 債	[1, 047, 079, 056]
構築物	91, 647, 663, 703	企業債	626, 404, 409
機械及び装置	19, 414, 291, 552	前 受 金	73, 849, 309
車 両 運 搬 具	87, 368, 811	その他流動負債	346, 825, 338
工具、器具及び備品	505, 203, 744	繰 延 収 益	[12, 317, 915, 481]
建設仮勘定	3, 777, 659, 350	長期前 受金	31, 920, 744, 263
減価償却累計額	\triangle 62, 020, 793, 187	長期前受金収益化累計額	\triangle 19, 602, 828, 782
無形固定資産	(71, 263, 697)	資 本 金	[34, 763, 484, 406]
施設利用権	1, 671, 711	資 本 金	34, 763, 484, 406

庁舎 使用権 電話 加入 立 預 託 立 エ 資 投資 そ の 他 投 そ の 他 な で 動	23, 862, 480 5, 807, 699 198, 260 39, 723, 547 (5, 600, 000) 5, 600, 000	剰 余 金 資 本 剰 余 金 利 益 剰 余 金 当 期 純 利 益	[2, 440, 454, 311] 811, 082, 357 1, 629, 371, 954 [1, 106, 722, 304]
ソフトウェア	39, 723, 547		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
流 動 資 産	[5, 601, 149, 372]		
現金・預金 未 収金 ま収金貸倒引当金	$4,741,777,961$ $657,412,246$ $\triangle 9,781,000$		
貯 蔵 品 前 払 金	31, 928, 817 53, 362, 500		
その他流動資産計	126, 448, 848 66, 926, 516, 544	計	66, 926, 516, 544

3 令和3年度決算状況

(1) 総括事項

令和3年度の水道事業は、令和3年3月に改訂した「湖都大津・新水道ビジョン(重点実行計画・中長期経営計画(経営戦略))」に基づき、安全で安心な水道水を安定して供給し続けるため、浄水場の施設整備や老朽化した送・配水管の布設替えなどを推進してきました。また、浄水場の統廃合により、これまで進めてきた比良・八屋戸浄水場間を結ぶ送水管の整備工事が完了したことから、令和4年3月末に比良浄水場を廃止し、加圧施設へ切り替えました。

経営面では、水道事業全体では純利益を計上することができましたが、大口需要家である事業所が閉鎖されたことに伴い、工場用の有収水量が大きく減少し、前年度と比較して給水収益は減少しました。また、給水戸数については増加しているものの、一戸当たりの有収水量は減少していることに加え、新型コロナウイルス感染症や原料高が企業活動に与える影響が懸念されることから、今後の水需要は見通し難い状況となっています。今後は浄水場など大規模な施設整備や更新等による費用の増加が見込まれていることから、厳しい経営状況が予測されます。このような中、次世代に健全な施設を引き継ぎ、お客様に継続して安全・安心な水道水を提供するため、より一層効率的な事業推進に取り組みつつ、持続可能な事業運営を実施していきます。

令和3年度の業務状況は次のとおりです。

給水状況を前年度と比べると、年度末現在給水戸数は1,696戸(1.1%)増加して15万9,913戸となり、 有収水量は約59万㎡(1.5%)減少して3,815万㎡となりました。

決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は1億4,447万円(2.0%)減少して71億5,067万円となりました。一方、支出総額は2億6,770万円(4.5%)減少して57億2,965万円となりました。

この結果、令和3年度決算において、14億2,102万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

ア 業務量

区	,	分	単位	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸び率 (%)
配	水	量	m³	39, 558, 194	40, 667, 304	△ 1,109,110	△ 2.7
一日	平 均 配	水 量	m³	108, 379	111, 417	△ 3,038	△ 2.7
有	収 水	量	m³	38, 148, 542	38, 740, 043	△ 591,501	△ 1.5
一 目 2	平均有収	水量	m³	104, 517	106, 137	△ 1,620	△ 1.5
年度末	ミ現 在 給 水	(戸数	戸	159, 913	158, 217	1,696	1.1
年度末	ミ現 在 給 水	人口	人	342, 689	342, 573	116	0.0

イ 給水戸数内訳

	区分		令和3年	度	令和2年度		上上較増減	伸び率
			戸 数 (戸)	構成比 (%)	戸 (戸)	構成比 (%)	(戸)	(%)
家	庭	用	148, 234	92.7	146, 605	92. 7	1, 629	1. 1
エ	場	用	218	0. 1	214	0. 1	4	1.9
商	業	用	6, 269	3. 9	6, 246	3. 9	23	0.4
公用	· 学 相	交 用	1, 519	1.0	1, 545	1.0	△ 26	△ 1.7
医	療	用	470	0.3	466	0.3	4	0. 9
公务	皮浴 場	易用	8	0.0	8	0.0	0	0.0
そ	の	他	3, 195	2. 0	3, 133	2. 0	62	2.0
	計		159, 913	100.0	158, 217	100.0	1, 696	1. 1

ウ 給水量内訳

			令和3年	度	令和2年	度	比較増減	伸び率
	区分		有収水量 (㎡)	構成比 (%)	有収水量 (m³)	構成比 (%)	(m³)	(%)
家	庭	用	31, 171, 944	81.7	31, 369, 304	81.0	△ 197,360	△ 0.6
エ	場	用	510, 479	1.3	937, 938	2. 4	△ 427, 459	△ 45.6
商	業	用	3, 881, 326	10. 2	3, 830, 821	9. 9	50, 505	1. 3
公月	月・学	校用	1, 489, 731	3. 9	1, 545, 627	4. 0	△ 55,896	△ 3.6
医	療	用	613, 913	1.6	622, 141	1.6	△ 8, 228	△ 1.3
公多	衆 浴 場	易用	17, 303	0. 1	10, 228	0.0	7, 075	69. 2
そ	の	他	463, 846	1. 2	423, 984	1. 1	39, 862	9. 4
	計		38, 148, 542	100. 0	38, 740, 043	100.0	△ 591, 501	△ 1.5

工 事業収益

	令和3年	度	令和2年	度	比較増減	伸び率
区分	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	(円)	(%)
営 業 収 益	6, 070, 573, 918	84. 9	6, 220, 439, 333	85.3	△ 149, 865, 415	△ 2.4
給 水 収 益	5, 991, 607, 227	83.8	6, 128, 802, 485	84.0	△ 137, 195, 258	△ 2.2
受託工事収益	21, 573, 985	0.3	24, 409, 980	0.4	△ 2,835,995	△ 11.6
その他営業収益	57, 392, 706	0.8	67, 226, 868	0.9	△ 9,834,162	△ 14.6
営業外収益	1, 079, 657, 168	15. 1	1, 074, 704, 214	14. 7	4, 952, 954	0.5
特 別 利 益	439, 342	0.0	0	0.0	439, 342	皆 増
計	7, 150, 670, 428	100.0	7, 295, 143, 547	100.0	△ 144, 473, 119	△ 2.0

オ 事業費用

				令和3年度		令和2年度		比較増減	伸び率	
	区分			金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	(円)	(%)	
営	業	費	用	5, 393, 431, 561	94. 1	5, 610, 781, 949	93. 5	△ 217, 350, 388	△ 3.9	

営業外費用	336, 218, 530	5. 9	376, 790, 634	6. 3	△ 40, 572, 104	△ 10.8
特別損失	660	0.0	9, 778, 947	0. 2	△ 9,778,287	著 減
∄ †	5, 729, 650, 751	100.0	5, 997, 351, 530	100. 0	△ 267, 700, 779	△ 4.5

カ 令和3年度純利益

1, 421, 019, 677円

第2 下水道事業

1 事業の概況

(1) 総括事項

(業務状況)

令和4年度上半期の調定件数は前年同期と比較して10,849件(1.3%)増加し、下水道使用料は前年同期と比較して1,267万円(0.4%)増の33億319万円となりました。

(建設・改良・維持管理)

生活環境の改善については、点在する下水道未整備地区の解消に向けて、大物、和邇北浜において下水道の整備を引き続き進めています。また、国道477号拡幅整備に合わせて、真野普門二丁目において下水道管の移設を実施しています。

地震対策事業では、「総合地震対策計画」に基づき、大津膳所北幹線及び南大萱1号幹線の耐震化工事を計画的に実施しています。

改築更新事業では、供用開始後50年を経過した大津終末処理場について、今年度から本格的に再構築事業に着手し、仮設水処理施設建設に向けた第1汚泥処理棟の解体撤去を実施しています。その他、「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、北比良、におの浜四丁目、国分一丁目などにおいて管集改築更新工事を実施しています。

雨水渠の整備については、「公共下水道事業計画(雨水渠)」に基づき、殿田川雨水渠築造工事を施行し、大将軍一丁目における浸水対策を進めています。

水環境の保全対策では、水質改善を目的として進めている瀬田浦クリークの整備について、基本方針の変更に係る検討を進めています。

維持管理については、下水道管路施設の点検や調査の結果を効率的に管理するため、下水道維持管理システムの運用を開始しました。

その他、下水道施設の調査、清掃や修繕を随時行い、適切な維持管理に努めています。

(経理状況)

令和4年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して4億5,338万円 (8.1%)減少し、51億5,893万円となりました。減少の主な理由は、昨年度において、下水道調査室による特定事業場への訪問調査により、地下水を公共下水道へ無届放流していた事業場を確認したことに伴い、その下水道使用料相当分を特別利益として計上していたことによるものです。一方、費用総額は4,413万円 (1.2%)減少して、37億7,583万円となりました。

この結果、当期の収支は、差引き13億8,310万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

	区	,	分	単位	令 和 4 年 度 上 半 期	令 和 3 年 度 上 半 期	比 較 増 減	伸び率 (%)
調	定	件	数	件	845, 330	834, 481	10, 849	1. 3
期	間有	収 🤈	水 量	m³	18, 503, 654	18, 621, 690	△ 118,036	△ 0.6
-	日平均	有収	水量	m³	101, 113	101, 758	△ 645	△ 0.6
下	水 道	使丿	用 料	円	3, 303, 189, 797	3, 290, 523, 993	12, 665, 804	0.4
そ	の ft	也 収	益	円	1, 855, 743, 050	2, 321, 785, 886	△ 466, 042, 836	△ 20.1
総	Ц	Z	益	円	5, 158, 932, 847	5, 612, 309, 879	△ 453, 377, 032	△ 8.1
総	す	ŧ	用	円	3, 775, 834, 709	3, 819, 963, 142	△ 44, 128, 433	△ 1.2

※ 文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

² 経理の状況

(1) 損益計算書

損益計算書

令和4年4月1日から同年9月30日まで

(単位:円)

収	益	費	用
科目	金 額	科目	金額
営 業 収 益	(3, 576, 694, 197)	営 業 費 用	(3, 475, 588, 440)
下 水 道 使 用 料	3, 303, 189, 797	管 渠 費	76, 500, 442
雨水処理負担金	273, 233, 500	ポンプ場費	41, 094, 089
その他営業収益	270, 900	処 理 場 費	230, 206, 036
営 業 外 収 益	(1, 582, 238, 650)	流域下水道管理費	538, 290, 863
受取利息及び配当金	21, 139	業務費	131, 702, 429
他会計負担金	463, 058, 500	総 係 費	73, 615, 581
他会計補助金	63, 503, 000	減価償却費	2, 383, 665, 000
長期前受金戻入	1, 041, 327, 000	その他営業費用	514, 000
雑 収 益	14, 329, 011	営 業 外 費 用	(300, 246, 269)
		支払利息及び企業債取扱諸費	300, 246, 269
		当 期 純 利 益	(1, 383, 098, 138)
計	5, 158, 932, 847	計	5, 158, 932, 847

(2) 貸借対照表

貸借対照表

令和4年9月30日現在

(単位:円)

			(単位・円)
借	方	貸	方
科目	金 額	科目	金額
固 定 資 産	[119, 633, 571, 391]	固 定 負 債	[29, 494, 838, 129]
有 形 固 定 資 産	(111, 715, 826, 509)	企 業 債	29, 271, 618, 582
土 地	1, 208, 342, 879	引 当 金	223, 219, 547
建物	1, 901, 111, 206	流 動 負 債	[2, 035, 462, 280]
構築物	150, 248, 492, 974	企 業 債	1,692,812,860
機械及び装置	10, 948, 122, 304	未 払 費 用	321, 784
車 両 運 搬 具	4, 555, 778	その他流動負債	342, 327, 636
工具、器具及び備品	89, 997, 317	繰 延 収 益	[51, 849, 624, 647]
建設仮勘定	1, 271, 559, 904	長 期 前 受 金	77, 399, 343, 661
減価償却累計額	\triangle 53, 956, 355, 853	長期前受金収益化累計額	\triangle 25, 549, 719, 014
無形固定資産	(7,901,124,882)	資 本 金	[37, 271, 527, 215]
地 上 権	174, 088	資 本 金	37, 271, 527, 215
施設利用権	7, 859, 140, 294	剰 余 金	[2, 470, 806, 429]
預 託 金	28, 660	資本剰余金	190, 585, 362
ソフトウェア	41, 781, 840	利 益 剰 余 金	2, 280, 221, 067
投資その他の資産	(16, 620, 000)	当期純利益	[1, 383, 098, 138]
その他投資	16, 620, 000		
流 動 資 産	[4,871,785,447]		
現金・預金	3, 935, 635, 668		
未 収 金	746, 136, 938		
未収金貸倒引当金	△ 21, 948, 000		
前 払 金	91, 807, 200		
その他流動資産	120, 153, 641		
計	124, 505, 356, 838	計	124, 505, 356, 838

3 令和3年度決算状況

(1) 総括事項

令和3年度の下水道事業は、生活環境の改善や安全性の向上、水環境の保全などの直面する諸課題に対応するため、膨大な下水道施設の維持管理及び改築更新を効率的に推進するべく、令和3年3月に改訂した「大津市下水道事業中長期経営計画(経営戦略)」に基づき、管渠整備や施設の改築更新及び地震対策に取り組みました。また、事業用排水に係る公共下水道の使用の実態を把握するため、特定事業場に対して立入調査等を実施しました。

経営面では、一般会計からの繰入金が前年度より増加したこと、また、事業者の公共下水道への無届排水に係る使用料相当額の収入及び流域下水道維持管理負担金の精算に伴う特別利益の計上により、前年度を上回る純利益を計上することができました。

しかし、今後、終末処理場など大規模な施設整備や更新により、資金需要が高まることが見込まれるのに対し、下水道普及率が高いことや節水意識が定着していることを踏まえると、今後の収益の大幅な増加は期待できません。加えて、新型コロナウイルス感染症や原料高が企業活動に与える影響が懸念されることから、今後の有収水量の推移は見通し難い状況となっています。

このような中、更なるお客様サービスの向上や経営の効率化を図るとともに、生活環境の改善(汚水の排除)、浸水の防除(雨水の排除)、公共用水域の水質保全の役割を果たすよう事業の推進に取り組んでいきます。

令和3年度の業務状況は次のとおりです。

処理状況を前年度と比べると、年間総処理水量は11万㎡(0.2%)増加して4,967万㎡となり、年間有収水量は前年度とほぼ横ばいの3,723万㎡となりました。

次に、決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は14億7,274万円(15.5%)増加して109億9,834万円となりました。一方、支出総額は2,316万円(0.3%)減少して87億1,812万円となりました。

この結果、令和3年度決算において、22億8,022万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

ア 業務量

	区		分		単位	令和3年度 令和2年度 比較増減		伸び率 (%)	
下	水	道普	及	率	%	98.5	98.5	0.0	0.0
水	涉	七 化		率	%	98. 2	98. 1	0. 1	0. 1
年	間総	& 処 理	水	量	m³	49, 666, 995	49, 552, 302	114, 693	0.2
年	間	有 収	水	量	m³	37, 232, 889	37, 233, 785	△ 896	0.0

イ 調定件数内訳

	令和3年	度	令和2年	度	比較増減	伸び率
区分	件 (件)	構成比 (%)	件 (件)	構成比 (%)	(件)	(%)
大津処理区	563, 301	33.6	557, 402	33.8	5, 899	1. 1
藤尾処理区	25, 430	1. 5	25, 270	1. 5	160	0.6
湖南中部処理区	527, 393	31.5	520, 738	31. 5	6, 655	1.3
湖西処理区	559, 225	33.4	549, 097	33. 2	10, 128	1.8
計	1, 675, 349	100.0	1, 652, 507	100. 0	22, 842	1. 4

ウ汚水量内訳

	令和3年	度	令和2年	度	比較増減	伸び率 (%)	
区分	汚水量 (m³)	構成比 (%)	汚水量 (m³)	構成比 (%)	(m³)		
大津処理区	12, 157, 993	32.6	12, 119, 724	32. 6	38, 269	0.3	

藤尾処理区	504, 214	1.4	498, 977	1.3	5, 237	1.0
湖南中部処理区	11, 805, 996	31. 7	11, 798, 611	31. 7	7, 385	0.1
湖西処理区	12, 764, 686	34. 3	12, 816, 473	34. 4	△ 51,787	△ 0.4
計	37, 232, 889	100.0	37, 233, 785	100.0	△ 896	0.0

工 事業収益

8 令和4年12月1日

	令和3年	度	令和2年	度	比較増減	伸び率
区分	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	(円)	(%)
下水道使用料	6, 589, 594, 272	59.9	6, 570, 074, 948	69. 0	19, 519, 324	0.3
雨水処理負担金	528, 517, 767	4.8	538, 710, 084	5. 7	△ 10, 192, 317	△ 1.9
その他営業収益	1, 068, 300	0.0	534, 400	0.0	533, 900	99.9
営業外収益	3, 230, 153, 599	29. 4	2, 203, 223, 078	23. 1	1, 026, 930, 521	46.6
特別利益	649, 006, 415	5. 9	213, 053, 733	2. 2	435, 952, 682	著増
計	10, 998, 340, 353	100.0	9, 525, 596, 243	100.0	1, 472, 744, 110	15.5

才 事業費用

	令和3年	度	令和2年	度	比較増減	伸び率	
区分	金 額 (円)			構成比 (%)	(円)	(%)	
営 業 費 用	8, 018, 933, 542	92.0	7, 953, 857, 921	91.0	65, 075, 621	0.8	
営業外費用	698, 626, 888	8.0	775, 517, 652	8. 9	△ 76, 890, 764	△ 9.9	
特別損失	558, 856	0.0	11, 908, 325	0. 1	△ 11, 349, 469	著 減	
計	8, 718, 119, 286	100.0	8, 741, 283, 898	100.0	△ 23, 164, 612	△ 0.3	

カ 令和3年度純利益

2, 280, 221, 067円

第3 ガス事業

1 事業の概況

(1) 総括事項

(業務状況)

令和 4 年度上半期の託送供給件数は前年同期と比較して669件 (0.7%) 増加し、託送供給収益は前年同期と比較して5,351万円 (3.7%) 減の13億9,425万円となりました。また、受注工事収益は231万円 (1.0%) 増の2億2,664万円となりました。

(建設・改良・維持管理)

拡張事業については、宅地開発等に伴う都市ガスの供給申請の要望に基づく導管整備を進め、中圧導管のループ化など、安定したガス供給の確保に努めています。

改良事業については、都市ガスの長期安定供給を図るため、経年管の布設替えや耐震性ガス導管の整備を引き続き行い、ガス漏れの予防保全、災害に強いガス設備の整備に努めています。

保安対策については、24時間常駐体制の下、修繕業務等を行うとともに、ガス漏れ、火災発生時に緊 急出動を行い、二次災害の防止に努めています。

(経理状況)

令和 4 年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して4,880万円(2.7%)減少し、17億3,300万円となりました。一方、費用総額は1,110万円(0.7%)減少して16億1,634万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き 1 億1,666万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

	区			分		単位	令和 4 年度 上 半 期	令和3年度 上 半 期	比較増減	伸び率 (%)
期	末割	£ 送	供	給件	数	件	101, 479	100, 810	669	0.7
期	間	託 追	送 供	共 給	量	m³	63, 535, 130	64, 394, 385	△ 859, 255	△ 1.3
_	日平	均言	壬送	供糸	量	m³	347, 187	351, 882	△ 4,695	△ 1.3
ガ		ス	彦	Ē	上	円	321, 832	373, 845	△ 52,013	△ 13.9
託	送	供	給	収	益	円	1, 394, 248, 406	1, 447, 760, 538	△ 53, 512, 132	△ 3.7
受	注	工	事	収	益	円	226, 641, 375	224, 326, 824	2, 314, 551	1.0
特	定	事	業	収	益	円	63, 824, 675	65, 105, 760	△ 1,281,085	△ 2.0
そ	の	ſt	<u>h</u>	収	益	円	47, 961, 635	44, 233, 472	3, 728, 163	8. 4
総		Ц	又 		益	円	1, 732, 997, 923	1, 781, 800, 439	△ 48, 802, 516	△ 2.7
総		掌			用	円	1, 616, 337, 530	1, 627, 433, 098	△ 11, 095, 568	△ 0.7

- ※ 文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。
- ※ 表中令和3年度上半期の業務実績に係る数値は、前年度に公表した数値に、公表後に生じた要因による 数値の変動を反映させたものです。
- 2 経理の状況
- (1) 損益計算書

損益計算書

令和4年4月1日から同年9月30日まで

(単位:円)

収	益	費	用
科目	金額	科目	金 額
ガス事業売上高	(1, 394, 570, 238)	営 業 費 用	(1, 366, 492, 670)
ガ ス 売 上	321, 832	売 上 原 価	194, 411
託 送 供 給 収 益	1, 394, 248, 406	供給 販売費	1, 280, 155, 016
営 業 雑 収 益	(226, 651, 375)	一般管理費	86, 143, 243
受 注 工 事 収 益	226, 641, 375	営 業 雑 費 用	(183, 841, 940)
その他営業雑収益	10,000	受注工事費用	183, 841, 940
附帯事業収益	(63, 824, 675)	附帯事業費用	(56, 896, 102)
特 定 事 業 収 益	63, 824, 675	特定事業費用	56, 896, 102
営 業 外 収 益	(47, 708, 196)	営 業 外 費 用	(9, 106, 818)
受取利息及び配当金	12, 137, 148	雑 支 出	9, 106, 818
長期前受金戻入	13, 260, 000	当期純利益	(116, 660, 393)
雑 収 益	22, 311, 048		
特 別 利 益	(243, 439)		
固定資産売却益	243, 439		
計	1, 732, 997, 923	計	1, 732, 997, 923

(2) 貸借対照表

貸借対照表

令和4年9月30日現在

(単位:円)

			借	方						貸	方	
	科	目			金	額		科	Ħ			金 額
固	定	資	産	[19, 27	72, 871, 884]	固	定	負	債	[650, 419, 547]

有 形 固 定 資 産	<	11, 338, 906, 128>	引		当		金		650, 419, 547
供 給 設 備	(50, 539, 144, 986)	流	動	,	負	債	[1, 360, 997, 467]
土 地		541, 919, 664	前		受		金		152, 146, 234
建物		996, 062, 473	預		り		金		1,036,321,120
構築物		174, 490, 379	そ	の他	流	動負	債		172, 530, 113
機械及び装置		1, 029, 587, 294	繰	延	J	収	益	[270, 735, 674]
導管		47, 441, 175, 197	長	期	前	受	金		354, 652, 855
ガスメーター		263, 262, 237	長其	朝前受金	金収益	企化累	計額		△ 83, 917, 181
車 両 運 搬 具		32, 007, 865	資		本		金	[24, 305, 721, 611]
工具、器具及び備品		60, 639, 877	資		本		金		24, 305, 721, 611
供給設備減価償却累計額	(△	39, 699, 326, 452)	剰		余		金	[3, 621, 658, 599]
業務設備	(399, 702, 052)	資	本	剰	余	金		142, 725
土 地		129, 914, 228	利	益	剰	余	金		3, 621, 515, 874
建物		161, 732, 134	当	期	純	利	益	[116,660,393]
構築物		13, 026, 790							
車 両 運 搬 具		2, 016, 017							
工具、器具及び備品		93, 012, 883							
業務設備減価償却累計額	(\triangle 227, 841, 620)							
建設仮勘定	(327, 227, 162)							
無形固定資産	<	86, 359, 756>							
電 話 加 入 権		711, 976							
預 託 金		99, 530							
ソフトウェア		85, 548, 250							
投 資 その他の資産	<	7, 847, 606, 000 >							
投 資 有 価 証 券		7, 800, 000, 000							
その他投資		47, 606, 000							
流 動 資 産	[11, 053, 321, 407]							
現金・預金		10, 261, 995, 959							
売 掛 金		408, 215, 393							
未 収 金		8, 312, 229							
有 価 証 券		200, 000, 000							
貯 蔵 品		38, 928, 935							
前 払 金		38, 043, 000							
その他流動資産		97, 825, 891							
計		30, 326, 193, 291			計				30, 326, 193, 291

3 令和3年度決算状況

(1) 総括事項

令和3年度のガス事業は、安定供給や保安の確保を図るため、令和3年3月に改訂した「大津市ガス事業中長期経営計画(経営戦略)」に基づき、供給区域内の未供給区域等への導管整備を計画的に実施し、経年管布設替え等の改良工事、需要家設備の安全点検などの保安対策に取り組みました。

経営面では、主に家庭用や工業用のガス需要が増えたことに伴い、託送供給収益が増加したことから、 昨年度を上回る純利益を計上することができました。しかしながら、市域でのガス供給量は減少傾向にあ ることに加えて、新型コロナウイルス感染症や原料高が企業活動に与える影響が懸念されることから、今 後のガス需要は見通し難い状況となっており、厳しい経営状況が続くものと予測されます。

このような中、効率的な業務執行と経費の節減を図るとともに、お客様に継続して安全・安心にガスを 供給するため、中長期経営計画(経営戦略)に基づき、計画的な導管整備や災害対策、ガス施設の安全管理、 大津市ガス特定運営事業等に係るモニタリングに引き続き取り組んでいきます。

令和3年度の業務状況は次のとおりです。

供給状況を前年度と比べると、年度末現在供給戸数は860戸 (0.9%) 増加して10万1,415戸となりました。一方、託送供給量は811万㎡ (6.1%) 増加して1億4,010万㎡となりました。

次に、決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は7,025万円(1.7%)増加して41億8,387万円となりました。一方、支出総額は5,792万円(1.6%)減少して35億6,236万円となりました。

この結果、令和3年度決算において、6億2,152万円の純利益を計上しました。

(2) 業務実績

ア 業務量

区		分		分 単位 令和3年		令和3年度	令和2年度	比 較 増 減	伸び率 (%)
受 入	ガ	ス	量	m³	135, 521, 631	127, 093, 058	8, 428, 573	6.6	
一目平	均受	入ガフ	く量	m³	371, 292	348, 200	23, 092	6.6	
託 送	供	給	量	m³	140, 098, 792	131, 987, 539	8, 111, 253	6. 1	
一日平	均託	送供糸	金量	m³	383, 832	361, 610	22, 222	6. 1	
年度末	現在	供給戶	⋾数	戸	101, 415	100, 555	860	0. 9	

イ 契約別託送件数

区		分		分单位		令和3年度	令和2年度	比較増減	伸び率 (%)
標	準	i	托	送	件	101, 315	100, 452	863	0.9
高	倍	率	託	送	件	47	46	1	2. 2
大	量 輔	谕 送	託	送	件	53	57	\triangle 4	△ 7.0
合				計		101, 415	100, 555	860	0. 9

ウ 契約別託送供給量

区			分		分		分		分		分		分		分		分		分		分		分		単位	令和3年度	令和2年度	比較増減	伸び率 (%)
標	準		託	送	m³	44, 480, 521	43, 723, 090	757, 431	1.7																				
高	倍	率	託	送	m³	1, 607, 619	1, 418, 334	189, 285	13.3																				
大	量	輸送	託	送	m³	94, 010, 652	86, 846, 115	7, 164, 537	8. 2																				
合				計		140, 098, 792	131, 987, 539	8, 111, 253	6. 1																				

工 事業収益

	令和3年	度	令和2年	度	比較増減	伸び率
区分	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	(円)	(%)
ガス売上	848, 226	0.0	851, 701	0.0	△ 3,475	△ 0.4
託送供給収益	3, 504, 811, 061	83.8	3, 436, 482, 959	83.5	68, 328, 102	2.0
営業雑収益	381, 997, 415	9. 1	402, 012, 680	9.8	△ 20, 015, 265	△ 5.0
附带事業収益	162, 150, 702	3. 9	164, 359, 363	4. 0	△ 2,208,661	△ 1.3
営業外収益	108, 994, 575	2.6	109, 917, 363	2. 7	△ 922,788	△ 0.8
特 別 利 益	25, 069, 475	0.6	0	0.0	25, 069, 475	皆 増
計	4, 183, 871, 454	100.0	4, 113, 624, 066	100.0	70, 247, 388	1. 7

才 事業費用

	区								令和3年度	1	令和2年度		比較増減	伸び率
		分		金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	(円)	(%)					
売	上	原	価	631, 991	0.0	416, 011	0.0	215, 980	51.9					

供給販売費	2, 713, 386, 648	76.2	2, 729, 293, 879	75. 4	△ 15, 907, 231	△ 0.6
一般管理費	294, 935, 781	8.3	287, 764, 362	8.0	7, 171, 419	2. 5
営業雑費用	374, 849, 459	10.5	395, 660, 919	10.9	△ 20,811,460	△ 5.3
附带事業費用	157, 366, 041	4. 4	162, 521, 446	4. 5	△ 5, 155, 405	△ 3.2
営業外費用	20, 993, 677	0.6	44, 461, 029	1. 2	△ 23, 467, 352	著 減
特別損失	191, 983	0.0	159, 643	0.0	32, 340	20. 3
計	3, 562, 355, 580	100.0	3, 620, 277, 289	100. 0	△ 57, 921, 709	△ 1.6

カ 令和3年度純利益

621,515,874円